

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会 第12回式典・会場専門委員会 次第

日 時：令和6年9月12日（木）10：00～12：00

場 所：滋賀県農業教育情報センター 第1研修室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員長の選出
- 4 報告事項

炬火用具（炬火トーチ・炬火受皿）の製作について

- 5 審議事項

（1）ウェルカムフェスタ・オープニングプログラム構成案

（2）ウェルカムフェスタ（公募プログラム）出演団体案

- 6 閉会

わたSHIGA輝く国スポ まで

あと **381** 日

わたSHIGA輝く障スポ まで

あと **408** 日

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会 2025年 9月28日(日)～10月 8日(水)
第24回全国障害者スポーツ大会 2025年10月25日(土)～10月27日(月)

2025



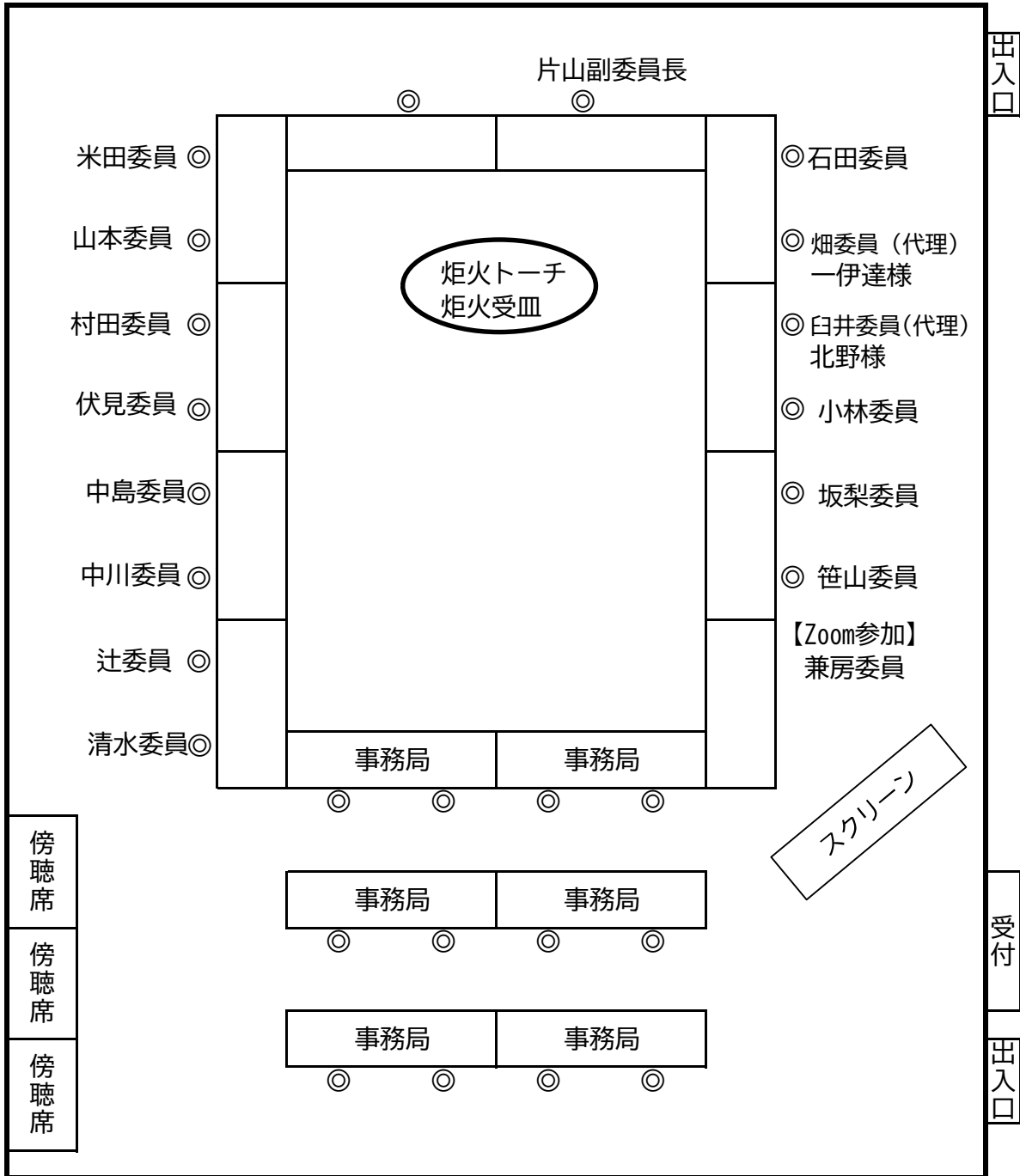
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会
式典・会場専門委員会 委員

(順不同：敬称略)

区分	機関・団体名および役職名	旧委員	新委員
学識経験者	株式会社アイアイ 顧問 博士（体育科学：筑波大学）スポーツ心理学専攻	豊田 則成	—
	京都女子大学発達教育学部教授	大橋 奈希左	(同左)
	元 長浜市曳山博物館館長	中島 誠一	(同左)
	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール館長	—	村田 和彦
スポーツ	公益財団法人滋賀県スポーツ協会事務局長	片山 彰一	(同左)
	一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会専務理事	中嶋 義基	(同左)
団体	滋賀県合唱連盟理事長	伏見 強	(同左)
	滋賀県吹奏楽連盟副会長	米田 正博	(同左)
報道	NHK 大津放送局コンテンツセンター長	中西 茂郎	石田 康之
学校	滋賀県小学校長会副会長	中川 章子	(同左)
	滋賀県中学校長会副会長	山本 順	(同左)
	滋賀県高等学校長協会会長	兼房 一浩	(同左)
	滋賀県私立中学高等学校連合会監事	小林 昌彦	(同左)
	滋賀県特別支援学校長会	清水 義文	(同左)
県・市町	滋賀県警察本部警備部参事官	坂梨 利隆	(同左)
	滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課長	笹山 衣理	(同左)
	滋賀県教育委員会事務局高校教育課長	臼井 正士	(同左)
	滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課長	畑 稔彦	(同左)
	滋賀県教育委員会事務局特別支援教育課長	左谷 光夫	(同左)
	彦根市スポーツ部国スポ・障スポ競技課長	辻 保徳	(同左)

配席図

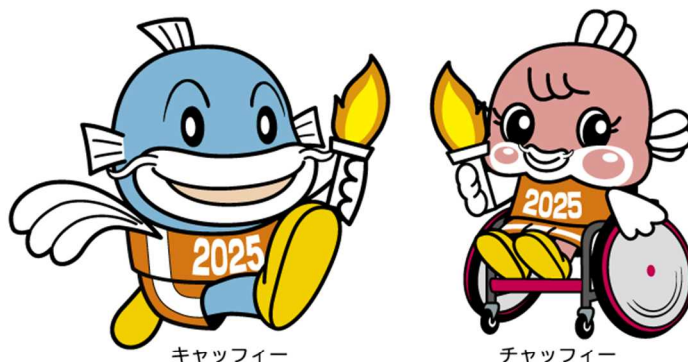
滋賀県農業教育情報センター
1階 第1研修室



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会

第12回 式典・会場専門委員会

会議資料



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会

2025年 9月28日(日)～10月 8日(水)

第24回全国障害者スポーツ大会

2025年10月25日(土)～10月27日(月)

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会
第 12 回 式典・会場専門委員会

会議資料 目次

◎報告事項

炬火用具（炬火トーチ・炬火受皿）の製作について・・・・・・・・・・P.1

◎審議事項

(1) ウェルカムフェスタ・オープニングプログラム構成案・・・・・・・・P.3

(2) ウェルカムフェスタ（公募プログラム）出演団体案・・・・・・・・P.6

炬火用具（炬火トーチ、炬火受皿）の製作について

1. 炬火トーチ

【デザイン】

滋賀県東北部工業技術センター

- ・ トーチ上部デザインは穏やかな琵琶湖の波を曲線を用いて表現。（横からの見た目）
- ・ 季節によって変わる琵琶湖の色を濃淡2色の青で表現。
- ・ 持ち手のグリップには、びわこ国体の炬火トーチと同様に木材を使用。

【制作者】

彦根仏壇事業協同組合

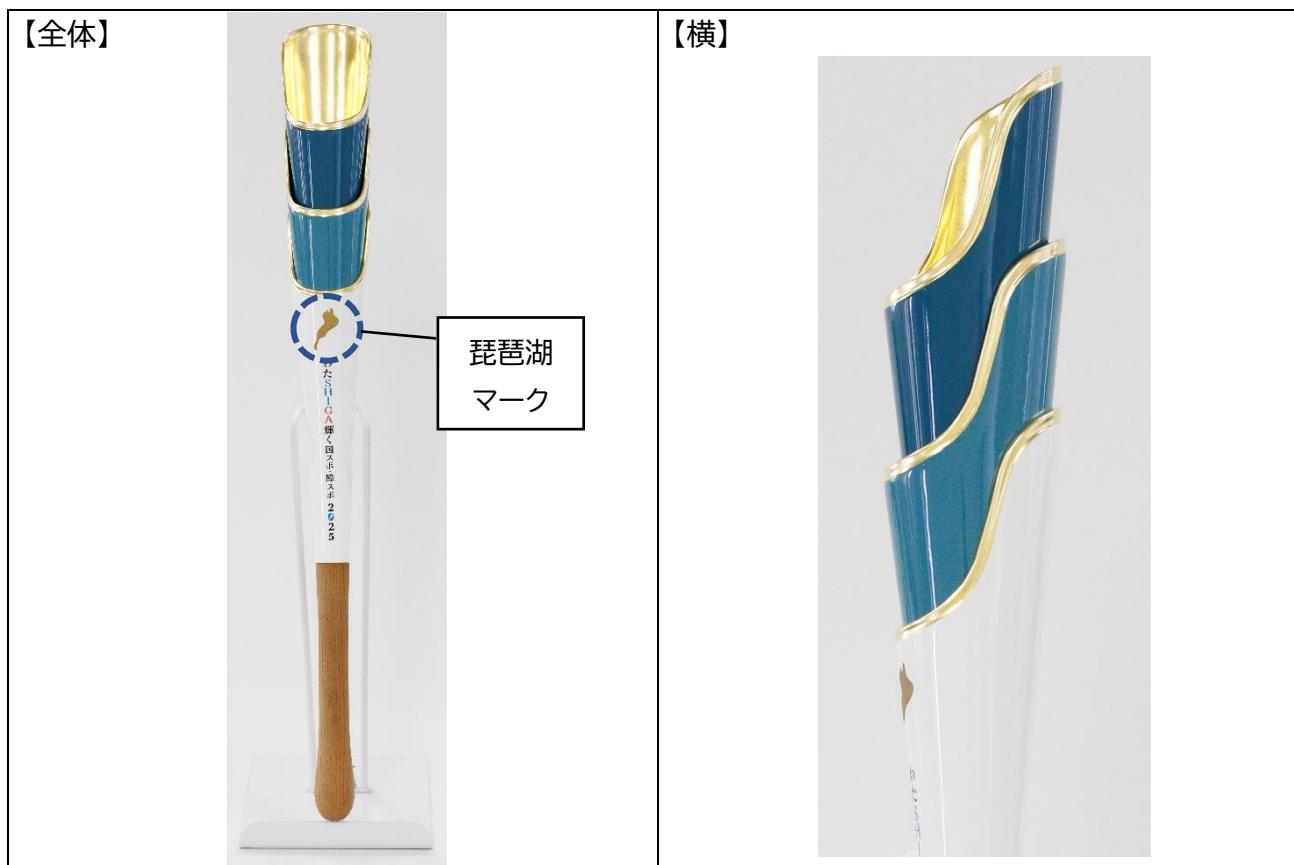
- ・ 2色の青色は、漆塗りを施している。（カラー漆）
- ・ 波の部分は金箔貼り、琵琶湖のマークは蒔絵を施している。

東近江市の木地師の工房（筒井ろくろ・ろくろ工房君奎（きみもく））

- ・ 持ち手のグリップは、木地師による制作。県産材の「けやき」を使用。

【使用用途】

- ① 県内 19 市町で実施する「炬火イベント」において、炬火の採火（火おこし）が行われるため、その火を掲げる際に使用。
- ② 国スポ・障スポの開・閉会式で使用。



2. 炬火受皿

【デザイン】

滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場

- ・びわこ国体の炬火受皿のデザインを継承しつつ、より琵琶湖をイメージするために深みのある青色としており、滋賀県らしさを表現。
- ・県内 19 市町ごとの特色を表現するために、各市町の子どもたちに炬火受皿を装飾するピースを制作してもらい、本体に飾り付けるデザイン。

【制作者】

信楽陶器工業協同組合

- ・作品はすべて信楽焼で制作。全 20 台（19 市町+県）を制作予定。
- ・深みのある青色となるように「海鼠釉薬（なまこゆうやく）」を施している。

【事業協力】

公益財団法人滋賀県陶芸の森「つつっこプログラム」（炬火受皿づくり）

- ・ピースづくりは、「炬火受皿づくり」として、今年6月から各市町の小学校等で開始。

【使用用途】

- ・各市町で採火した炬火を一時的に灯すために使用。（ランタンのように使用するイメージ）



【「炬火受皿づくり」今後の実施予定（近日案件）】

- ・令和6年9月17日（火）13:45～ 東近江市立 玉緒小学校
- ・令和6年9月26日（木）13:40～ 湖南市立 岩根小学校

湖国の感動 未来へつなぐ

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号
滋賀県国スポ・障スポ大会局 総務企画室 式典係
TEL 077-528-3334 FAX 077-528-4832
E-mail kokusyo-kikaku@pref.shiga.lg.jp
